令和７年３月期　決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和７年５月14日

上 場 会 社 名　　株式会社　御園座　　上場取引所　　名
コ ー ド 番 号　　9664　　URL　https://www.misonoza.co.jp
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　宮崎　敏明
問合せ先責任者　（役職名）　総務経理部主務　　（氏名）　長谷川　眞玄　（TEL）(052)－222－8202
定時株主総会開催予定日　　令和７年６月27日　　配当支払開始予定日　　―
有価証券報告書提出予定日　令和７年６月26日
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．令和７年３月期の業績（令和６年４月１日～令和７年３月31日）

（１）経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
７年３月期	2,531	△29.9	△76	―	△83	―	△85	―
６年３月期	3,610	32.3	217	―	207	―	178	―

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円　銭	円　銭	%	%	%
７年３月期	△17.18	―	△1.9	△1.4	△3.0
６年３月期	35.76	―	4.0	3.3	6.0

（参考）持分法投資損益　７年３月期　―百万円　６年３月期　―百万円

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
７年３月期	5,785	4,497	77.7	903.29
６年３月期	6,133	4,575	74.6	919.00

（参考）自己資本　７年３月期　4,497百万円　６年３月期　4,575百万円

（３）キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
７年３月期	△79	△41	△161	799
６年３月期	532	△41	△233	1,081

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向	純資産配当率
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	百万円	%	%
６年３月期	―	―	―	0.00	0.00	0	―	0.00
７年３月期	―	―	―	0.00	0.00	0	―	0.00
８年３月期(予想)	―	―	―	0.00	0.00		―	

３．令和８年３月期の業績予想（令和７年４月１日～令和８年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通　期	2,820	111.4	63	―	52	―	36	―	7.23

※　注記事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（２）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	７年３月期	4,984,500株	６年３月期	4,984,500株
②　期末自己株式数	７年３月期	5,294株	６年３月期	5,294株
③　期中平均株式数	７年３月期	4,979,206株	６年３月期	4,979,279株

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 3
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 4
（４）今後の見通し …… 4
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 5
３．財務諸表及び主な注記 …… 6
（１）貸借対照表 …… 6
（２）損益計算書 …… 8
（３）株主資本等変動計算書 …… 9
（４）キャッシュ・フロー計算書 …… 11
（５）財務諸表に関する注記事項 …… 12
（継続企業の前提に関する注記） …… 12
（セグメント情報等） …… 12
（持分法損益等） …… 12
（１株当たり情報） …… 12
（重要な後発事象） …… 12

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や、インバウンド需要の増加等により緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかし、物価上昇、通商政策など米国の政策動向に伴う影響など海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社におきましては、お客様の利便性の向上を念頭に置き安心してご来場いただけるよう努め、その中で引き続きお客様からのご意見に基づき劇場運営の改善を進め、お客様の嗜好に合わせた公演の実現、観客動員の維持も図りながら、上演してまいりました。

２月に公演を休止して、１階後方の座席改良工事を行い、良好な観劇空間とするとともに、女性トイレの増設を行い、混雑の緩和を行ってまいりました。

公演数及び観客動員の拡大を図りながら、お客様に喜んで頂ける公演を増加させていく予定であります。

当社は、以下の通り、令和６年４月から令和７年３月において12月に２回の公演中止を除き、公演を37種類、上演日数として172日間、上演回数として227回（前年同期296回）の実施を致しました。

〈当事業年度の上演実施作品〉

公演名	上演期間	上演日数	上演回数
舞台『千と千尋の神隠し』	４月７日～20日	14	18
舞台『銀行強盗にあって妻が縮んでしまった事件』	４月26日～28日	3	4
スーパー歌舞伎『ヤマトタケル』	５月６日～19日	14	18
『トンカツロック』	５月23日～27日	5	7
坂東玉三郎特別公演『怪談牡丹燈籠』片岡愛之助出演	６月１日～９日	9	8
『ベルサイユのばら50』～半世紀の軌跡～	６月14日～16日	3	4
中村美律子コンサート2024	６月21日	1	1
ミュージカル『この世界の片隅に』	６月28日～30日	3	4
山里亮太の140愛知公演	７月５日	1	1
宝塚歌劇花組公演ミュージカル『ドン・ジュアン』	７月16日～８月１日	17	22
ブロードウェイ ミュージカル『ピーター・パン』	８月11日～12日	2	2
夏休み！スペシャル『吉本新喜劇＆バラエティ公演』	８月13日～18日	6	11
舞台『星列車で行こう』	８月23日～26日	4	6
藤原紀香主演 舞台『カルメン故郷に帰る』	８月31日～９月１日	2	3
舟木一夫御園座特別コンサート2024	９月４日～８日	5	5
鶴瓶御園座独演会	９月14日～15日	2	2
マツケンサンバコンサートスペシャル	９月16日	1	2
柚香 光『ＴＡＢＬＥＡＵ』	９月28日～29日	2	2
御園座錦秋花形歌舞伎	10月10日～20日	11	14
御園座11月特別公演『水戸黄門』	11月８日～13日	6	9
氷川きよし 25周年記念劇場コンサートツアー	11月15日～17日	3	3
四代目 桂梅枝/五代目 桂慶枝 W襲名披露公演	11月22日	1	1
小藪の吉本新喜劇＆バラエティーショー	11月23日	1	2
兵動大樹のおしゃべり大好き。46	11月24日	1	1
有頂天家族	11月30日～12月1日	2	3
ミュージカル グラウンドホッグ・デー	12月５日～８日	3	4
年末恒例 大爆笑大会 よしもと爆笑公演	12月10日～15日	6	11
Thank you veryマッチde SHOW ギンギラ学園物語	12月20日～22日	3	5
加藤登紀子ほろ酔いコンサート2024	12月24日	1	1

ヴェニスの商人	１月６日～10日	5	6
岩崎宏美コンサート	１月11日	1	1
ザ・ニュースペーパー特別公演	１月12日	1	1
三山ひろし新春特別公演	１月17日～26日	10	12
吉本新喜劇＆バラエティーショー	２月15日	1	2
ミュージカル『ＳＩＸ』日本キャスト版	２月28日～３月２日	3	4
松平健 芸能生活50周年記念公演	３月６日～３月16日	11	17
浪人街	３日21日～３月28日	8	10
合計		172	227

（上演日数には休演日も含みます）

〈公演中止となった当事業年度の上演予定作品〉

公演名	上演期間	上演日数	上演回数
ミュージカル グラウンドホッグ・デー	12月７日	1	2
合計		1	2

この結果、当事業年度の売上高は、25億３千１百万円（前年同期は36億１千万円）となりました。売上高は10億７千９百万円減少し、利益面におきまして、営業損失７千６百万円（前年同期は営業利益２億１千７百万円）、経常損失８千３百万円（前年同期は経常利益２億７百万円）、当期純損失８千５百万円（前年同期は当期純利益１億７千８百万円）となりました。

当社の報告セグメントは劇場事業単一セグメントでありますので、セグメント別の記載は省略しております。

（２）当期の財政状態の概況

（資産の部）

当事業年度末における流動資産の残高は、10億３千３百万円となり、前事業年度末に比べ１億７千３百万円の減少となりました。この主な要因は、現金及び預金が２億８千２百万円減少した一方で、売掛金が５千９百万円、未収還付法人税等２千１百万円、未収還付消費税２千８百万円増加したことによるものであります。固定資産の残高は、47億５千２百万円となり、前事業年度末に比べ１億７千４百万円の減少となりました。この主な要因は、建物が１億８百万円、機械及び装置が９千万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は、57億８千５百円となり、前事業年度末に比べ３億４千８百万円の減少となりました。

（負債の部）

当事業年度末における流動負債の残高は、５億５千７百万円となり、前事業年度末に比べ１億２千３百万円の減少となりました。この主な要因は、未払法人税等が４千２百万円、未払消費税が４千５百万円、前受金が４千７百万円減少したことによるものであります。固定負債の残高は、７億３千万円となり、前事業年度末に比べ１億４千６百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が１億６千２百円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、12億８千７百万円となり、前事業年度末に比べ２億６千９百万円の減少となりました。

（純資産の部）

当事業年度末における純資産の残高は、44億９千７百万円となり、前事業年度末に比べ７千８百万円の減少となりました。この主な要因は、利益剰余金が８千５百万円減少したことによるものであります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ２億８千２百万円減少し、７億９千９百万円となりました。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、７千９百万円の支出(前期は５億３千２百万円の収入)となりました。これは主に、減価償却費２億３千６百万円の増加、税引前当期純損失８千万円、未払又は未収消費税等の増減７千２百万円の減少によるものであります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、４千１百万円の支出(前期は４千４百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出４千４百万円によるものであります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、１億６千１百万円の支出(前期は２億３千３百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入れによる収入５千万円、長期借入金の返済による支出２億２百万円によるものであります。

（４）今後の見通し

原材料価格や賃金の上昇により、外注委託費、材料費、制作費等の売上原価が上昇するという前提で令和８年３月期業績見通しを集計しております。当劇場においては、公演の採算を鑑みながらコンテンツをより充実させた内容の公演を行ってまいる予定です。

そうした前提のもと、令和８年３月期の当社主催の公演は、以下の通り予定しております。

歌舞伎公演につきましては、４月に「市川團十郎特別公演」を実施し、10月に「尾上菊五郎・尾上菊之助襲名披露公演」を予定しております。

５月にはＩＭＰ．初主演舞台「ＩＭＰＡＣＴ」を行い、６月にはミュージカル公演「ダンスオブヴァンパイア」、「二都物語」、８月には宝塚歌劇団雪組による「パリのアメリカ人」その他舞台演劇、歌謡ショー、お笑いなど多種多様な公演を、公演種類として約30種類、公演回数として約250回提供してまいる予定です。この中には、公演期間が10～25日間程度の期間に渡るものもあれば、１日間、２日間の短期公演もあり、さまざまなジャンルのファンの方に、何度も足をお運びいただけるような魅力ある公演を提供してまいります。

その結果、令和８年３月期の業績は、売上高28億２千万円（前年度比11.4%）、営業利益６千３百万円（前年度営業損失７千６百万円）、経常利益５千２百万円（前年度経常損失８千３百万円）、当期純利益３千６百万円（前年度純損失８千５百万円）を予想しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、日本基準を適用しております。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

３．財務諸表及び主な注記

（１）貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （令和６年３月31日）	当事業年度 （令和７年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,111,874	829,636
売掛金	77,248	136,957
貯蔵品	1,279	877
前渡金	381	717
前払費用	15,226	15,293
未収入金	－	16
未収還付法人税等	－	21,215
未収消費税等	－	28,171
その他	177	171
流動資産合計	1,206,187	1,033,056
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,961,495	2,965,754
減価償却累計額	△756,297	△869,254
建物（純額）	2,205,197	2,096,499
構築物	13,927	13,927
減価償却累計額	△5,832	△6,765
構築物（純額）	8,095	7,162
機械及び装置	999,881	999,881
減価償却累計額	△551,850	△642,840
機械及び装置（純額）	448,031	357,041
工具、器具及び備品	225,358	258,032
減価償却累計額	△162,811	△179,269
工具、器具及び備品（純額）	62,546	78,762
土地	2,124,656	2,123,768
リース資産	8,100	16,507
減価償却累計額	△7,135	△8,660
リース資産（純額）	964	7,847
有形固定資産合計	4,849,491	4,671,082
無形固定資産		
電話加入権	72	72
ソフトウエア	44	－
リース資産	5,583	6,012
無形固定資産合計	5,701	6,084
投資その他の資産		
投資有価証券	57,074	65,268
長期前払費用	10,222	4,654
保険積立金	3,906	4,415
その他	1,659	1,659
貸倒引当金	△739	△739
投資その他の資産合計	72,123	75,259
固定資産合計	4,927,316	4,752,427
資産合計	6,133,504	5,785,483

（単位：千円）

	前事業年度 （令和６年３月31日）	当事業年度 （令和７年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	159,922	168,478
1年内返済予定の長期借入金	200,000	210,000
リース債務	7,427	3,266
未払金	31,979	32,314
未払法人税等	54,528	11,644
未払消費税等	45,938	－
前受金	168,873	121,242
預り金	5,722	3,932
賞与引当金	2,000	2,000
その他	4,324	4,274
流動負債合計	680,715	557,154
固定負債		
長期借入金	600,000	437,501
リース債務	－	11,978
繰延税金負債	267,494	272,508
退職給付引当金	7,888	7,689
その他	1,500	1,000
固定負債合計	876,882	730,677
負債合計	1,557,598	1,287,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,271,937	2,271,937
資本剰余金		
資本準備金	2,137,599	2,137,599
その他資本剰余金	22	22
資本剰余金合計	2,137,621	2,137,621
利益剰余金		
利益準備金	112,500	112,500
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	627,906	619,763
別途積立金	350,000	350,000
繰越利益剰余金	△910,306	△987,728
利益剰余金合計	180,099	94,534
自己株式	△39,994	△39,994
株主資本合計	4,549,663	4,464,099
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26,242	33,553
評価・換算差額等合計	26,242	33,553
純資産合計	4,575,906	4,497,652
負債純資産合計	6,133,504	5,785,483

（２）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自　令和５年４月１日 至　令和６年３月31日）	当事業年度 （自　令和６年４月１日 至　令和７年３月31日）
売上高	3,610,137	2,531,034
売上原価	2,752,902	1,996,991
売上総利益	857,235	534,042
販売費及び一般管理費		
役員報酬	12,720	19,830
給料及び手当	36,192	28,814
退職給付費用	3,308	437
賞与引当金繰入額	2,000	1,940
ビル管理費	70,328	65,125
減価償却費	244,637	236,669
租税公課	39,189	37,973
広告宣伝費	4,764	8,905
支払手数料	57,704	58,849
その他	169,373	152,195
販売費及び一般管理費合計	640,218	610,739
営業利益又は営業損失（△）	217,016	△76,697
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,839	2,404
その他	1,733	2,598
営業外収益合計	3,573	5,003
営業外費用		
支払利息	10,721	10,565
その他	2,235	1,020
営業外費用合計	12,957	11,585
経常利益又は経常損失（△）	207,632	△83,279
特別利益		
補助金収入	20,245	－
固定資産売却益	－	3,247
特別利益合計	20,245	3,247
税引前当期純利益又は税引前当期純損失（△）	227,877	△80,032
法人税、住民税及び事業税	39,978	1,402
法人税等調整額	9,858	4,130
法人税等合計	49,837	5,532
当期純利益又は当期純損失（△）	178,040	△85,564

（３）株主資本等変動計算書

前事業年度(自　令和５年４月１日　至　令和６年３月31日)

（単位：千円）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
						固定資産圧縮積立金	別途積立金
当期首残高	2,271,937	2,137,599	22	2,137,621	112,500	627,906	350,000
当期変動額							
当期純利益又は当期純損失（△）							
自己株式の取得							
税率変更による積立金の調整額							
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）							
当期変動額合計	－	－	－	－	－	－	－
当期末残高	2,271,937	2,137,599	22	2,137,621	112,500	627,906	350,000

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計					
	繰越利益剰余金						
当期首残高	△1,088,347	2,058	△39,817	4,371,800	12,718	12,718	4,384,519
当期変動額							
当期純利益又は当期純損失（△）	178,040	178,040		178,040			178,040
自己株式の取得			△177	△177			△177
税率変更による積立金の調整額							－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					13,523	13,523	13,523
当期変動額合計	178,040	178,040	△177	177,863	13,523	13,523	191,386
当期末残高	△910,306	180,099	△39,994	4,549,663	26,242	26,242	4,575,906

当事業年度(自 令和６年４月１日　至 令和７年３月31日)

（単位：千円）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
						固定資産圧縮積立金	別途積立金
当期首残高	2,271,937	2,137,599	22	2,137,621	112,500	627,906	350,000
当期変動額							
当期純利益又は当期純損失（△）							
自己株式の取得							
税率変更による積立金の調整額	－	－	－	－	－	△8,142	－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）							
当期変動額合計	－	－	－	－	－	△8,142	－
当期末残高	2,271,937	2,137,599	22	2,137,621	112,500	619,763	350,000

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計					
	繰越利益剰余金						
当期首残高	△910,306	180,099	△39,994	4,549,663	26,242	26,242	4,575,906
当期変動額							
当期純利益又は当期純損失（△）	△85,564	△85,564		△85,564			△85,564
自己株式の取得							－
税率変更による積立金の調整額	8,142	－	－	－	－	－	－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					7,310	7,310	7,310
当期変動額合計	△77,421	△85,564	－	△85,564	7,310	7,310	△78,254
当期末残高	△987,728	94,534	△39,994	4,464,099	33,553	33,553	4,497,652

（4）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 令和５年４月１日 至 令和６年３月31日）	当事業年度 （自 令和６年４月１日 至 令和７年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失（△）	227,877	△80,032
減価償却費	244,637	236,669
退職給付引当金の増減額（△は減少）	2,926	△199
賞与引当金の増減額（△は減少）	2,000	―
受取利息及び受取配当金	△1,839	△2,404
支払利息	10,721	10,565
固定資産売却益	-	△3,247
補助金収入	△20,245	―
売上債権の増減額（△は増加）	180,423	△59,708
棚卸資産の増減額（△は増加）	△178	401
未収入金の増減額（△は増加）	67	△16
仕入債務の増減額（△は減少）	△252,557	8,556
前受金の増減額（△は減少）	12,619	△47,631
預り金の増減額（△は減少）	2,692	△1,789
未払金の増減額（△は減少）	7,592	335
未払又は未収消費税等の増減額	18,854	△72,624
その他	6,230	△443
小計	441,821	△11,568
利息及び配当金の受取額	1,839	2,404
利息の支払額	△10,674	△10,614
補助金の受取額	70,245	―
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	29,113	△59,887
営業活動によるキャッシュ・フロー	532,344	△79,665
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,000	―
有形固定資産の売却による収入	―	4,377
有形固定資産の取得による支出	△11,363	△44,924
その他	55	△1,009
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,307	△41,556
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	50,000
長期借入金の返済による支出	△224,181	△202,499
リース債務の返済による支出	△8,791	△8,516
その他	△177	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△233,150	△161,015
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	257,886	△282,237
現金及び現金同等物の期首残高	823,987	1,081,874
現金及び現金同等物の期末残高	1,081,874	799,636

（５）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社は劇場事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（持分法損益等）

該当事項はありません。

（１株当たり情報）

	前事業年度 （自　令和５年４月１日 至　令和６年３月31日）	当事業年度 （自　令和６年４月１日 至　令和７年３月31日）
１株当たり純資産額	919円00銭	903円29銭
１株当たり当期純利益又は当期純損失（△）	35円76銭	△17円18銭

（注）前事業年度の潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当事業年度の潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、１株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

１　１株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 （令和６年３月31日）	当事業年度 （令和７年３月31日）
純資産の部の合計額（千円）	4,575,906	4,497,652
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	－	－
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	4,575,906	4,497,652
１株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（千株）	4,979	4,979

２　１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 （自　令和５年４月１日 至　令和６年３月31日）	当事業年度 （自　令和６年４月１日 至　令和７年３月31日）
当期純利益又は当期純損失（△）（千円）	178,040	△85,564
普通株主に帰属しない金額（千円）	－	－
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失（△）（千円）	178,040	△85,564
普通株式の期中平均株式数（千株）	4,979	4,979

（重要な後発事象）

該当事項はありません。